

# 未来志創

嬉しいことがありました。「体調を崩して早退した人の机に置かれた配布物を誰に何かを言われるまでもなく、自分から整えてくれていた」と、ある先生が教えてくださいました。さりげなくプリントを揃えたり、それをファイルに入れたり、机の中に入れてくれたり…といった行動が本当に素敵です。思えば、欠席者がいても机の上にプリントが散乱しているのをほとんど見たことがありません。いつも“さりげなく”誰かがやってくれているんですね。とても温かいです。もし、自分が欠席した次の日の朝に登校したとき、配布物が整えられていたら嬉しいですね。これこそ、目配り、気配り、心配りですね。

ほかにも、昨日の6限後、「テキスト取ってきていいですか?」と言って、国語と英語のテキストを自発的に取りに行き配ってくれた人たちもいました。欠席者の分もきっちりと数えて、やっぱりきれいに整えてくれていました。日々感謝です。ありがとうございます。

そして、なんと昨日のテキスト提出も100%でした。これまでTPC(提出物パーフェクトチャレンジ)で互いに何度呼びかけ合っても、なかなか100%には到達しませんでした。それがこのテキスト学習が始まって100%を連続で達成しています。きっと2Dの皆さんならこう言います。「いやいや、当然ですよ!」って。でもこれって、凄いことですよ。この行動力、努力する姿勢こそ、一人一人の意識の表れです。目の前のことに一生懸命になれるって素晴らしいです。いろいろな行動を積み重ねて、日々自分磨きをしていますね。

## 今日、この一問に集中する

いいことだけ言う、口先だけのヤツはいっぱいいる。

でも、結局試されるのは行動なんだ。キミの年代でいえば、具体的には、定期テストや入試で結果を出していくこと。そのために、「こうやって、こうやれば通るよね」みたいな受験のノウハウをいうことより何より、いちばん大事なのは、「今日の一問に取り組めるか」なんだ。

「一問に真剣に取り組む」っていうのは時間がかかるし泥臭い。時間をとって一所懸命やってみても、「たったこれだけの分量しかできないのか」ってことに気づくわけ。

そういう泥臭い作業をやれてもいないのに「こうすればいいんだよ」なんて知ったかぶりの言葉を言うのは、本当に恥ずかしい。勉強ひとつでも、「伸びる」っていうことは、今日の一問をズルしないで本当にしっかりわかるっていうことでしょう。口だけの人って、そういう丁寧な行動ができない。

もちろん、誰もがさっさと結果を出したいと思う。でも、直面しなきゃならないことから逃げちゃだめだ。…四の五の言うんじゃなくて、「今日、この一問に集中する」っていう行動以外に、できるようになる道はない。

『13歳のキミへ 中学生生活に自信がつくヒント35』(高濱正伸)

自分が真剣に、時間をかけて積み重ねた努力は裏切りません。はじめはできなくて当然です。だからこそ、目の前の一問に真剣に取り組む、「分ろう」とする姿勢を貫きたいですね。